

議 事 要 旨

名 称	第5回松山市車両基地跡地広域交流拠点施設整備検討会
開催日時	令和7年6月30日(月) 15:00~16:30
開催場所	松山市役所本館11階 大会議室(オンライン併用)
出席者	出席者名簿のとおり(5ページに掲載)
次 第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事 (1)第4回検討会の意見対応 (2)パブリックコメントの意見 (3)基本計画(案)の追記、修正 (4)今後の予定</p> <p>3. 閉会</p>
議事内容	<p>(1)第4回検討会の意見対応</p> <p>【事務局】(資料1 第4回検討会意見対応表について説明)。</p> <p>⇒各委員からのご意見・ご助言</p> <p>・住民やその他関係団体は、本事業に要望を言う権利があると同時に、要望を言う以上は義務が生じる。また、周辺へ理解を求める必要がある、ということが抜け落ちているように感じる。 また、サウンディングの実施時期や位置付けを教えて欲しい。</p> <p>【事務局】</p> <p>・サウンディング調査は、JR 松山駅の西側にある車両基地跡地について、アリーナ整備を基本としながら、ゼネコンなどから意見をいただく予定である。また、駅周辺のにぎわい創出に関する意見や、商業施設の併設などについても意見を頂きたい。 その際、資金計画と事業スキームも民間事業者と一緒に検討を進めていきたい。 実施時期は、来月7月中に基本計画を取りまとめた後に、できるだけ早く、来月～再来月を目途に公募するよう考えており、年度内に複数回実施する予定である。 また、前段の指摘については、資金などをしっかり考えていくべきという意見と捉え、サウンディングなどを通して、地元の団体等にも関わっていただき、運営方針を含めて検討していきたい。</p> <p>(2)パブリックコメントの意見</p> <p>【事務局】(資料2 パブリックコメントの意見と対応について説明)。</p> <p>⇒各委員からのご意見・ご助言</p> <p>・民間事業者の提案を受けながら進める、との説明が多いが、総合プロデューサー的な立場について、どのような人を想定しているか。 また、アリーナのメイン利用者はバスケットボールチームであると</p>

思われるが、先日オレンジバイキングスの経営形態が変わり、サイボウズになるとのことだが、アリーナについてはフリーハンドで検討するとの報道であった。この点をどう考えるか。

【事務局】

- ・今回この事業を進めるにあたって、アドバイザー契約を締結する予定である。事業者選定は済んでおり、日本総合研究所・安井建築設計事務所共同体を優先交渉権者としている。こちらの事業者のノウハウもいかしながら進めていきたい。また、オレンジバイキングスについては、先日新体制になることやBプレミアを目指すことが表明された点は、アリーナ整備を目指す市としても楽しみである。引続きオレンジバイキングスやサイボウズとも協議を進めていきたい。

⇒各委員からのご意見・ご助言

- ・今回のパブリックコメントについて、「検討します」という記載が多いが、現時点で可能性が低いものがあるのではないかと「これは無理である」という意見を記載しても良いかと考えるがどうか。
- ・万事がうまくいくわけではないため、優先順位をつけていき、整理をつけていかないと、議論ばかりでまとまらないのではないかと。そのあたりを踏まえて、事業を進めていただきたい。

【事務局】

- ・ご指摘のとおり、非常に難しいものもあると考えている。特に、最近の整備事業を鑑みると資材高騰や人件費高騰で、整備費が非常に高額になってきていることもあり、官民連携で取り組んでいきたいと考えるが、それで進めるにしても、なかなか事業者の手が挙がりにくいことが想定される。こうした状況の中で、アドバイザー事業者とも相談しながら可能性を追求していきたい。

⇒各委員からのご意見・ご助言

- ・基本構想にアリーナがなかったため、なぜ変更になったかの説明があると良い。昨年11月に検討会が始まり、アリーナについて議論が深められ、一方で文化ホールの必要性についても理解いただいて、今回このような形に落ち着いたと認識しているが、基本計画の外でもよいので、方針が変更するにあたっての合理的な理由をまとめて公開いただくのが良いと考える。

【事務局】

- ・将来の文化施設のあり方については、最終的に別途検討会を立ち上げて検討することとなったが、ここに至るまでの経緯として、基本構想に基づき、文化創造、活動支援、交通アクセス、防災、賑わい交流からなる5つの主要機能を備えた拠点の整備を目指すこととしていた。その後、経済団体、文化団体からの要望をもとに、多目的に活用できるアリーナを整備することとし、本事業地では文化施設の議論は切り離して検討する意見もいただき、基本計画を整理した。将来の文化施設のあり方については、別途立ち上げる検討会の中で、市民会館の代替機能の必要性も議論しながら進めていきたい。今回の基本計画は、車両基地跡地について最もふさわしい機能の考え方として、取りまとめたことをご理解いただきたい。

検討会で頂いた意見は、ホームページに掲載しているが、改めて詳細に意見を示すのは、どこまでできるかという点も含めて検討する。

【事務局】(資料3 基本計画案の修正箇所について説明)。

⇒各委員からのご意見・ご助言

- ・スポーツや文化を振興することに加えて、マルチユースに対応し、地域経済の発展に寄与する施設、エリア全体への経済発展に向けて寄与することが記載された点で、この計画は意義があったものとする。是非、次代を担う子どもたちが、一流に触れて未来を描くきっかけとなること。また、施設完成後の運営主体や、安定収入が見込める事業者とできるだけ早期に協議を進めた方がよい。観光事業者、交通事業者や旅行事業者、宿泊事業者など様々な事業体との調整を、松山市が主体になって進めていただきたい。
- ・アリーナで実施するコンテンツを地元の人たちが考えていかないと利用される施設にならない。地元経済界をはじめ、みんなで考えることが重要であり、それが松山らしさになる。
どのような条件であれば、中心市街地と一体になって、他の敷地と一緒に事業ができるかという点は、非常に重要になるため、周辺地域の開発可能性について、意見交換をしながら進めていただきたい。
利用者と利用頻度を確認していくべきである。特に今回はプロ利用をメインとしているため、事業化を目指すパートナーとは、今後の事業への関与や連携を見据えて検討していただきたい。
- ・時間軸の捉え方について、都市の整備と駅周辺の整備は密接に関わるが、時間軸が異なり、同時並行で進めることは難しい。市全体についてはロングスパンで検討する必要があるため、この点を間違えないよう県や民間と連携を取って進めてもらいたい。
また、アドバイザー事業者は手法などを示すだろうが、最終的な優先事項の決定やコストの考え方については、市が決断しなければならない。工事費は昨今高騰が著しく、特に設備、労務費が顕著である。労務関係は人件費高騰と同時に人手不足で、発注が困難となり事業に着手できないという可能性もある。見通しが立てづらくなっているため、ある程度リスクを考えなければいけない。
- ・本計画も急ぐべきでだが、文化事業の方もスピード感をもって進めなければいけない。時期的に重なるため、コスト面も含め時間軸を考えて急がなければいけない。
また、核となるプロバスケットチームとの関係は、しっかり進めていただきたい。
- ・これだけ多くのパブリックコメントを頂いており、大きな方針を立てるにあたっては、多数の価値観がある中で決断し、オリジナリティも必要になる。5,000席のアリーナは全国に乱立していることもあり、オリジナリティがないと厳しい。決断の時期がきており、より松山が良い形となるよう後押ししていきたい。
- ・JR車両基地跡地周辺について、どういうものができるかということを知りやすく見える化していただくと良い。また、市民がパブリックコメントを出すということは、それだけ関心があるという現れで、施設が

できた後も関わっていただける人と思われるため、大切にしていきたい。

- ・アリーナと同様にホールも必要であり、早急に同時並行で検討しながら、皆が使いやすい施設を造っていくべきである。
- ・本会での意見やパブリックコメントを丁寧に拾い上げて基本計画を策定された点は、事務局も大変努力されたと考える。
単体の施設だけを語るのではなく、エリアにある建物・機能を有効に活用していくことも検討いただきたい。利用者がストレスなく移動できるように、有機的に結びつけていくことができると防災の観点からもよく、商業的・経済的な影響も出てくる。是非、有機的なエリアになっていくことに期待している。
- ・様々な意見が出されるのは良いことであるが、松山市がリーダーシップを取り、中心となって進めていただきたい。是非とも早く頑張ってください。
- ・基本計画も回を重ねてまとまってきており、非常に良い方向性でパブリックコメントも対応いただいたと感じる。
- ・パブリックコメントでも交通渋滞や交通アクセスに関する指摘があるが、従来では 5,000 人規模の場合 2,000 台駐車場が必要という議論になり、車でないとアクセスできない位置にしか整備できず、中心市街地にぎわい創出につながっていかなかった。本事業では、民間の駐車場や住居をアプリと連携させると駐車場台数を 100～200 台確保することができる。このように、地域住民にとっても収益施設となるように、逆手にとった新たな仕組みを作っていただきたい。
- ・計画をする上では、市民の方々がどう参加していくかが重要で、施設がオープンした後の主要な来客・コアメンバーになりうる市民を育て、新たな客層を巻き込むことがステップとして非常に重要である。
新たなコミュニティづくりへと進められると良い。
- ・現在、松山市民会館、愛媛県民文化会館の2つのホールがあることで、コンサートが松山で供給されている。両施設とも老朽化が進行しているということであるが、同時期に改修などにより休館してしまうことのないようにお願いしたい。
- ・今後の進め方として、市民が関与できる場所を横断的に作っていく、アリーナの利用を想定する人であればそれをオープンな場で作り、議論だけでなく実際に行っていく人の核を作っていくことが必要。
これからサウンディング調査などを一気に短い期間で行っていくなかで、施設整備さえできればいいということではなく、市民が関わり、協働することを進めていっていただきたい。

松山市車両基地跡地広域交流拠点施設整備検討会 出席者名簿

(敬称略)

所属・役職			氏名
1	有識者	愛媛大学社会共創学部 学部長	松村 暢彦
2		大阪公立大学 客員教授	山本 康友
3		埼玉大学大学院 理工学研究科 環境社会基盤部門 教授	菊池 雅彦
4		株式会社ブルーモーメント 代表	田山 順一
5		AC Bright Lab 合同会社 代表	千葉 昭浩
6	関係団体	松山市文化協会 会長	土居 英雄
7		公益財団法人 松山市文化・スポーツ振興財団 理事長	本田 元広
8		公益財団法人 愛媛県スポーツ協会 常務理事	豊島 吉博

オブザーバー	愛媛経済同友会 幹事 ※代理出席	正岡 尚起
	NPO 法人シアターネットワークえひめ 理事	郡司島 宏美
	公益財団法人 松山観光コンベンション協会 専務理事	家串 正治
	社会福祉法人 松山市社会福祉事業団 常務理事	矢野 博朗